



## 2018年環境レポート



新田ゼラチン株式会社 大阪工場

## ごあいさつ

当社は皆様のおかげをもちまして、今年創業100年を迎えました。創業以来、他に類を見ないユニークな天然素材であるコラーゲンをコア素材として、常にお客様の目線に立って付加価値の高い商品を創り出す事業を展開してまいりました。

主力製品であるゼラチン、コラーゲンペプチド、コラーゲンケーシングは、その製造に多くの水資源とエネルギーを必要とします。そのため省資源・省エネには積極的かつ継続的に取り組み、環境への影響を十分に配慮しております。

企業の責務としてCSRがますます重視される昨今、国内はもとより当社グループの海外拠点とも連携しながら、よりグローバルな視点で環境保全に繋がる活動を進めております。

昨年度、大阪工場のエネルギー使用量は前年度比で1.3%増加し、CO<sub>2</sub>排出総量も同 2.0%増加しました。

これまで通り「人と環境に優しいモノづくりの追求」を合言葉に社会に貢献する企業を目指し、皆様とともに次の100年へ向けて、さらなる事業の発展を目指してまいります。

2018年 5月 22日

取締役執行役員 環境管理担当

玉岡 徹

## 環境方針

### 大阪工場環境方針

人と環境に優しいモノづくりの追求を通して、社会に貢献すると共に、  
かけがえのない地球環境を守る事業活動を行います。

- 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的改善を実施します
- 省資源、省エネおよび廃棄物の削減に取り組みます
- CO<sub>2</sub>削減に努め、地球温暖化防止に貢献します
- 法順守はもとより地域社会とのコミュニケーションを図り、環境保全活動に取り組みます
- 環境方針および環境活動内容を開示します
- 教育・社内広報などを通じて全従業員に対し、環境意識の向上を図ります

2017年 4月 1日

## 推進体制

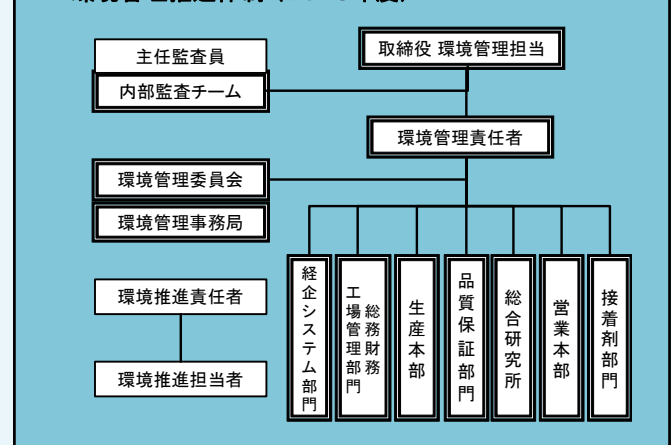
大阪工場では、経営層（取締役環境管理担当）、環境管理責任者、各部門長である環境推進責任者と主任監査員及び環境管理事務局から構成される「環境管理委員会」を四半期毎に開催しております。環境目標の進捗管理等、環境マネジメントシステムの運用状況については、同委員会で報告・協議し、方針決定いたします。

毎月各部署で収集される環境パフォーマンスは環境管理事務局で集約管理し、必要に応じて環境管理責任者が対応策を検討いたします。

マネジメントシステム全体の監視は内部監査チームが行っておりますが、構成監査員は適宜新しい要員と交代し、新たな視点と広い視野をもって取り組むよう努めております。

(ISO14001は1999年12月に認証登録され、2017年4月より2015年版へ移行しております)

### 環境管理推進体制（2018年度）



# 環境への取り組み

当社大阪工場は、多くのエネルギー・水資源を使用するため、環境に大きな負荷を与えております。これらの負荷を軽減するため、大阪工場ではこれまで様々な取り組みを行ってまいりました。

## 1. 過去10年の取り組み

- 2008年 ボイラー群の集中制御装置を更新(エネルギー効率の向上)
- 2010年 高効率型ボイラーへの更新(5か年計画一最終)
- 2012年 高効率型濃縮機導入による省エネ・CO<sub>2</sub>削減  
工場全体の節電対応(シフト生産、業務部門の省エネ対策)  
ファックスのペーパーレス化によるコピー用紙削減
- 2013年 高効率型濃縮機の安定稼働  
工場全体の省エネ活動推進  
社内イントラネット導入による業務効率化、ペーパーレス化
- 2014年 コージェネ発電機排熱回収設備の導入
- 2015年 コージェネ発電機排熱回収設備の安定稼働
- 2016年 排水処理施設への負荷低減対策と大規模保全工事を実施
- 2017年 排水処理施設の改良を継続  
冷温水機の第一期更新と運転最適化  
工場全体の継続的省エネ(大型設備の効率運転、製造設備のインバータ化推進等)



冷温水機群(2017年6月)

## 2. 今年度の取り組み

- ・排水処理施設への負荷低減対策の継続的実施
- ・新型冷温水機への計画的更新(6月)
- ・工場全体の継続的省エネ推進  
(工場のデマンド管理、昼間休憩時間内の不要な空調・照明の停止、クールビズ・ウォームビズの励行等)
- ・社内イントラネット活用による業務効率化の推進
- ・地域清掃の実施(6月、12月)
- ・工場周辺パトロールの実施(6月、10月、12月、3月)

## 3. その他の取り組み

- ・製造工程の効率化によりエネルギー効率を向上
- ・工場の緑化
- ・小学校社会科工場見学の受け入れ(近隣14校)
- ・照明の省電力化
- ・人感センサーによる照明自動消灯設備の設置
- ・事務用品の再利用化による購入削減の啓蒙活動
- ・紙包材の紙資源化、熱資源化
- ・フレコンバッグの再利用
- ・廃油の有価リサイクル化

## 2017年度 環境活動実績 (2017年4月1日～2018年3月31日)

大阪工場では、年間計画に基づいて環境活動を推進し、目標達成を目指しております。

エネルギーは、生産品目や原料種の変化、及びそれに伴う排水処理条件等の変更により、原単位が目標(前年2016年度実績)より増加いたしました。

CO<sub>2</sub> 排出量は、熱源の自動制御による運用等を行った結果、目標(高効率型設備導入後の水準維持)をクリアし、前年度よりわずかな増加で推移いたしました。

廃棄物については、環境負荷の大きい埋立廃棄物の排出を抑制した結果、排出量目標をクリアしました。

廃棄物リサイクル率については、これまで通り100%近い状態を維持できております。

水資源(市水道)については、製造工程での品質向上のための洗浄や技術部門での実験量増加により使用量が増加し、僅かに目標を超過いたしました。

紙資源については、社内IT化を進めてコピー用紙使用量を減らすしくみを運用しておりますが、2017年度は前年より増加いたしました。

その他法順守、化学物質管理、工場周辺環境整備等については適切に対応いたしました。

環境目的	環境テーマ	実績	評価
環境法規制順守	環境法規制に基づく運用管理の徹底	予定通り実施	○
	是正措置の実施	異常なし	○
	環境影響の予測	新規導入設備のアセスメントを5件実施	○
省エネルギーの推進	製造エネルギー原単位の削減(前年度実績未達)	2.4%増加で、目標未達	×
CO <sub>2</sub> 排出量削減	大阪工場全体のCO <sub>2</sub> 排出量削減(省エネ設備導入後水準維持)	目標達成(目標比△1.6%)	○
廃棄物の削減	埋立廃棄物の削減(5t以下)	排出量 2.5tで目標達成	○
廃棄物の適正処分	廃棄物リサイクル化の維持・管理	廃棄物リサイクル率 99.9%	○
水資源の削減	排水の排出量抑制(900,000t未達)	目標達成(目標比△3.2%)	○
紙資源の削減	コピー用紙の使用量の削減(前年実績未達)	4.7%増加で、目標未達	×
化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	適切に管理されている	○
環境教育の推進	一般啓蒙教育の推進(都度)	予定通り実施	○
	啓蒙活動の推進(2回/年)	予定通り実施	○
	指定業務教育の推進(都度)	予定通り実施	○
	内部監査員教育の推進(1回/年)	予定通り実施	○
工場周辺の環境整備	地域清掃の実施(2回)	予定通り実施	○
	工場パトロールの実施(4回)	予定通り実施	○

○：目標達成

△：前年実績は下回るが、目標は未達

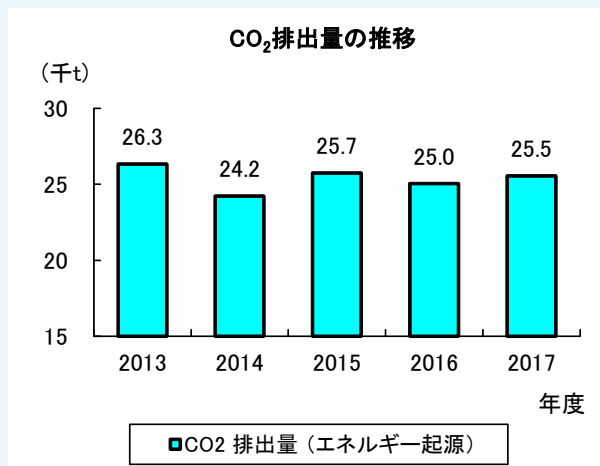
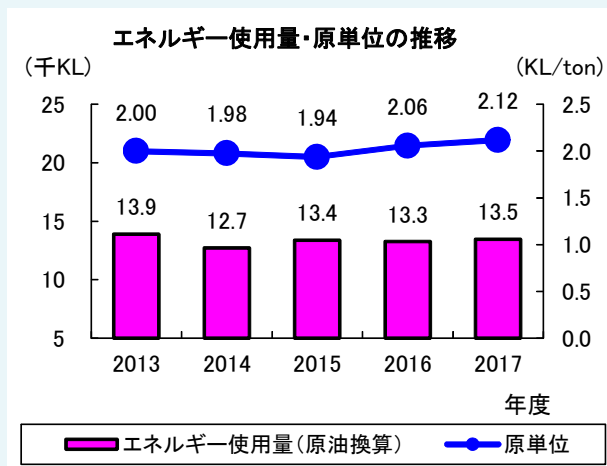
×：前年実績・目標ともに未達

## 省エネ活動とCO<sub>2</sub>削減への取り組み

製造部門では、高効率型設備の導入や高能力冷却器の更新により、エネルギー効率を高め、工程の改良に努めております。また業務部門でもOA機器や照明・空調などの省エネを推進しております。

2017年度は、生産品目や原料種の変化とともに排水処理条件等の変更により、エネルギー使用量(原油換算)は前年度比1.3%増加し、原単位(製品1トンあたりのエネルギー使用量)も前年度比1.5%増加しました。

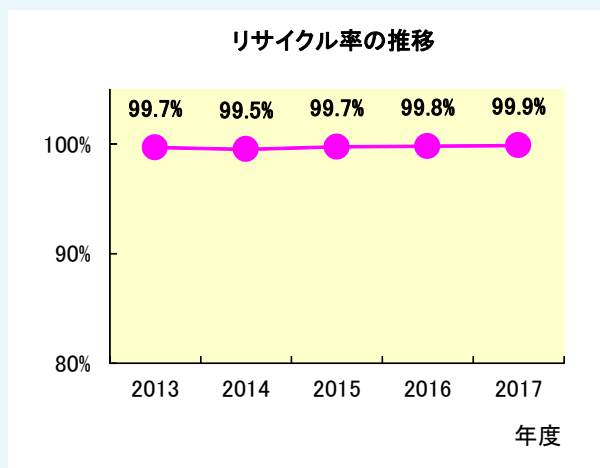
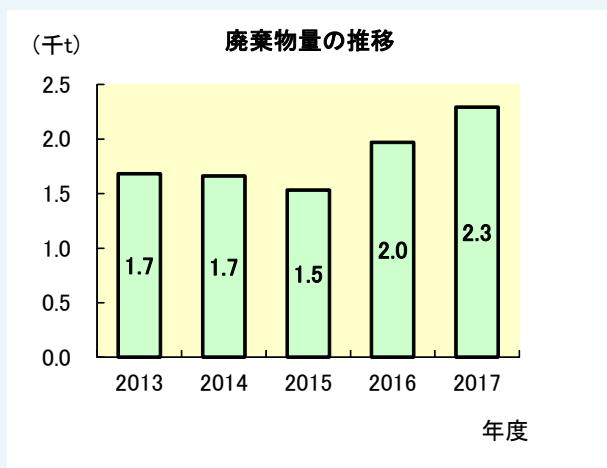
CO<sub>2</sub>排出量(総量)は、前年度比2.0%増加しました。



## 廃棄物管理

2017年度の廃棄物排出量は、排水処理施設の大規模保全工事の中で、排水処理の前工程で細かい汚泥も回収するようにしたため、前年度比16.5%の増加、工事前の2014年度比では38%増加となりましたが、排水処理時間を大幅に短縮できました。

全廃棄物のリサイクル処理率(熱リサイクル含む)は99.9%で、ほぼ100%を維持しております。

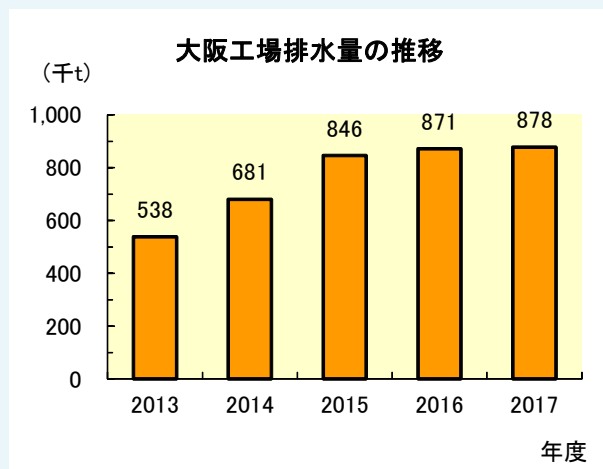


# 省資源活動

## 1. 水資源

近年、製品品質の維持・向上のために、工程設備の洗浄を強化しており、2017年度についても安定して推移しております。

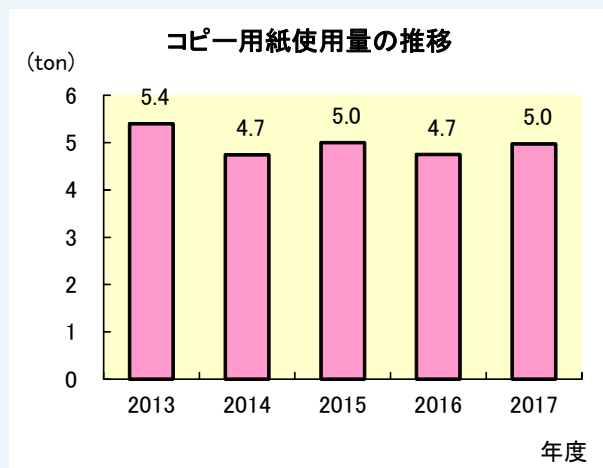
引き続き、作業工程の見直し等により、製品品質を維持した中で取水量の削減や再利用に取り組んでまいります。



## 2. 紙資源

2017年度も社内IT化を推進しコピー用紙に注目した削減に努めてまいりましたが、一部連続紙からコピー用紙へ転換してきた用途があったために前年より集計が増加いたしました。

2018年度も引き続き、よりいっそうの業務効率化を推進し、紙資源の節約に努めてまいります。



## 教育活動

大阪工場で働く全ての従業員を対象に、新入社員教育、一般教育、推進担当者教育等を推進し、意識向上・啓蒙活動に努めております。

### 1. 環境セミナー

7月に、工場の全従業員対象の啓蒙活動を目的とした環境一般セミナーを開きました。八尾市職員の方から八尾市の環境への取り組みについて説明を行っていただき、従業員の意識向上を図りました。



環境一般セミナー（2017年7月）

### 2. 社内報

社内報には、定期的に環境特集記事を掲載し、環境活動の重要性や社内での活動報告を行い、従業員の意識向上を図っています。2017年度は、主に2015年版規格関連のニュースと規格移行状況等、を掲載いたしました。



社内報記事（2018年1月）

## 緊急事態対応

### 1. 消防訓練・防災訓練

八尾市消防署の指導の下、6月に消防訓練を実施し、11月に地震の初動手順を確認するための防災訓練を行いました。

避難訓練や、消防車放水訓練に加えて消火栓放水訓練を行いました。また消防署署員から消火器訓練等を受けました。



消防訓練（2017年6月）

### 2. 緊急事態訓練

薬品漏洩等の事故・緊急事態を想定した模擬訓練を12月に実施しました。

工場建屋内における硝酸漏洩を想定した緊急事態訓練で、防護服着用の実地確認を行いました。また他部署からも多数の従業員が見学いたしました。



硝酸漏洩緊急事態訓練（2017年12月）

# 企業市民としての活動

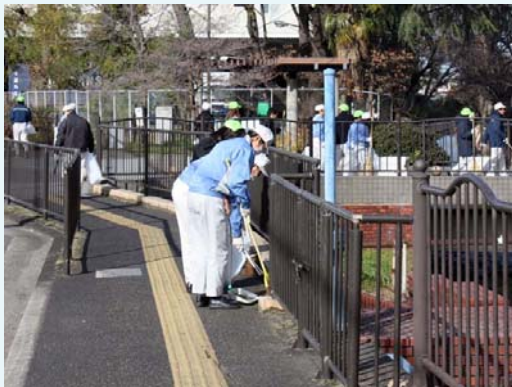
## 社会貢献活動

地域の方々との様々な関わりの中で、皆様から信頼される良き企業市民として地域社会との共生に努めております。

### 1. 地域清掃・環境パトロール

地域清掃は6月(第32回)と12月(第33回)に実施し、延べ100名の従業員が参加いたしました。また、四半期毎に環境パトロールを年4回実施いたしました。

近隣周辺は比較的きれいに清掃されていますが、必要に応じて、放置された粗大ごみや、冬には大量の落ち葉の回収等を行っております。



工場周辺の地域清掃 (2017年12月)

### 2. 地域緑化・工場緑化

地域の緑化に貢献するため、継続的に敷地内に植樹をしております。毎年入社式の際には、新入社員による記念植樹を行っております。

また中庭等構内には季節の花が咲き、来社されるお客様や見学者の心を和ませております。

今年4月には創業100周年を記念して、榎(まき)を植樹いたしました。



創業100周年記念植樹の様子 (2018年4月)

### 3. グラウンド一般利用

グラウンドを近隣の方々にもご利用いただいております。

年間を通して少年サッカークラブの練習にご利用いただき、春には桜の花見をたくさんの方が楽しんでおられます。



花見風景 (2018年4月)

### 4. 工場見学

秋には、近隣小学校の社会科見学を積極的に受け入れております。2017年度は14校総勢1120名の児童・教職員の方々に構内を見学していただきました。また、ゼラチンを使ったお菓子づくりやシンクロナイズドスイミングの選手がゼラチンでどのように髪をセットしているのかを体験していただきました。

その様子は12月6日に田中誠太八尾市長にも視察いただき、お褒めの言葉をいただきました。



近隣小学校社会科見学の様子 (2017年10月)



## 2018年度 環境目標

2018年度の大阪工場環境保全活動の目標は、2017年度の実績を基に見直し、具体的な行動展開につなげるべく新たな目標を設定して、推進してまいります。

環境目標	環境テーマ	目標値
環境法規制順守	環境法規制に基づく運用管理の徹底	法順守
	是正措置の実施	実施
	環境影響の予測	アセスメント実施
省エネルギーの推進	製造エネルギー原単位の抑制 (省エネ法への対応)	2.04kL/t 未満
CO <sub>2</sub> 排出量抑制	大阪工場全体のCO <sub>2</sub> 排出量抑制	26,000t 未満
廃棄物の削減	埋立廃棄物の排出量抑制	5t 以下
廃棄物の適正処分	廃棄物リサイクル化の維持・管理	99% 以上
水資源の削減	排水の排出量抑制	900,000t 未満
紙資源の削減	コピー用紙の使用量の削減	前年実績未満
化学物質の管理	化学物質の適正管理	使用量管理
環境教育の推進	一般啓蒙教育の実施	都度実施
	啓蒙活動の推進(教育・セミナーの実施)	3回/年
	指定業務教育の実施	都度実施
	内部監査員教育の実施	1回/年
工場周辺の環境整備	地域清掃の実施	2回/年
	環境パトロールの実施	4回/年

発行元 : 新田ゼラチン株式会社 大阪工場  
発行責任者 : 環境管理責任者 吉村 充浩  
発行日 : 2018年 6月 5日  
お問合せ先 : 大阪工場 工場管理センター(近藤)  
住所 : 〒581-0024  
大阪府八尾市二俣2-22  
電話 : 072-948-7190(直)  
FAX : 072-949-8087

表紙写真 : 大阪工場 クラブ中庭 薔薇  
撮影年月 : 2018年5月